

2022 年上半期の長期漁海況予報について

—資源部—

令和3年12月21日～22日に令和3年度第2回太平洋いわし類・マアジ・さば類長期漁海況予報会議が開催されました。それらの結果を踏まえ、2022年1月～6月の日向灘における漁海況予報文を作成しましたので参考にしてください。

1 海況

1) 黒潮

○経過（2021年6月～12月）

・都井岬沖の黒潮流軸（海上保安庁海洋情報部）は、概ね「接岸傾向」（「接岸」～「やや離岸」）で推移しました（図1）。

○予測（2022年1月～6月）

・都井岬沖の黒潮流軸は、概ね離岸傾向で推移する見込みです。

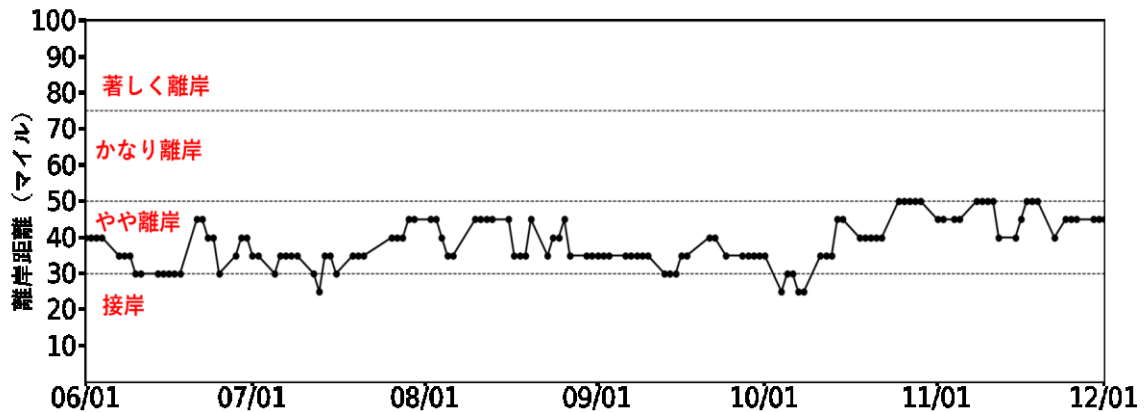


図1 都井岬沖の黒潮離岸距離（海上保安庁海洋情報部 HP よりデータ取得）

2) 沿岸水温

○経過（2021年6月～12月）

・沿岸海洋観測による日向灘の水温（0m, 50m, 100m 層より判断）は、平年値（1991～2020 年度平均）と比べて、7月に「やや高め」、10月に「平年並み」、12月は「かなり低め」で推移しました。その他の月は「やや低め」で推移しました。

○予測（2022年1月～6月）

・日向灘の水温は、期間を通して「著しく低め」～「平年並み」で推移する見込みです。

2 漁況

1) マイワシ

○経過（2021年7月～11月）

・主要まき網による漁獲は、5、6月は各月ともに前年を大きく上回る漁獲があり、7、9月に千トンを超える漁獲がありましたが、7～11月の各月ともに前年を大きく下回りました（図2、3）。

・漁獲サイズは、6月に13cm（被鱗体長。以下、略す）前後、7月に14cm前後、8月に12cm前後、10～11月に16cm前後が主体となっていました。

○予測（2022年1月～6月）

・漁獲対象は、期の前半は産卵成魚、後半は0歳魚が主体となる見込みです。

・漁獲量（来遊水準）は前年（5,293トン：平年比214%）を下回ると予測されます。

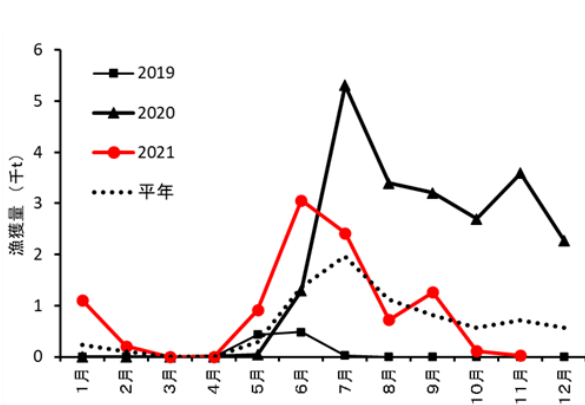


図2 主要まき網のマイワシ漁獲量経月変化

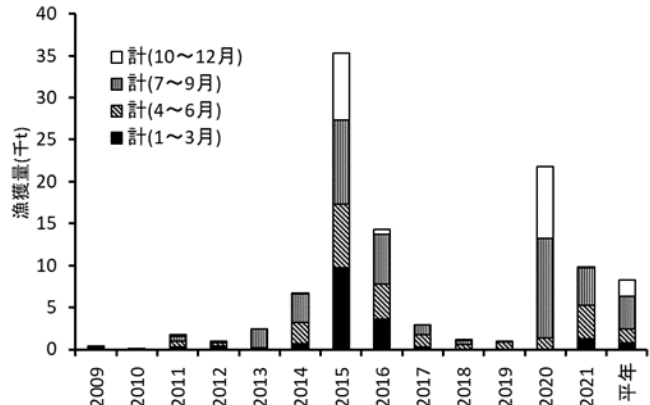


図3 主要まき網のマイワシ漁獲量経年変化

2) ウルメイワシ

○経過 (2021年7月~11月)

- ・主要まき網による漁獲は、7月以降、各月ともに前年を大きく上回る漁獲となりました(図4、5)。
- ・漁獲サイズは、6月に11cm前後、7月に11cm前後と14cm前後、8月に12cm前後、10月に14cm前後が主体に11~18cm前後、11月に15cm前後が漁獲の主体となっていました。

○予測 (2022年1月~6月)

- ・漁獲対象は、1月~4月は15~20cmの推定1歳魚以上の産卵成魚、6月には0歳魚が主体となる見込みです。
- ・漁獲量(来遊水準)は前年(4,590トン: 平均比216%)を下回ると予測されます。

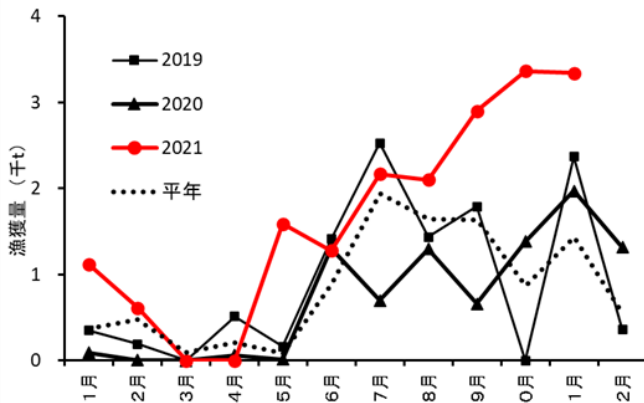


図4 主要まき網のウルメイワシ漁獲量経月変化

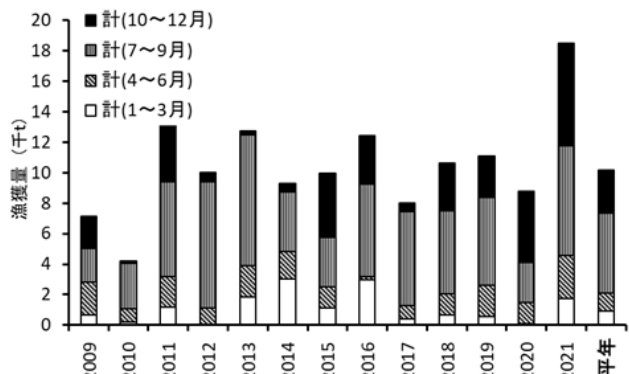


図5 主要まき網のウルメイワシ漁獲量経年変化

3) カタクチイワシ

○経過 (2021年7月~11月)

- ・主要まき網による漁獲は、7~10月では各月ともに前年を上回る漁獲となり、11月では前年を下回る漁獲となりました(図6、7)。
- ・漁獲サイズは、期を通して10~12cm前後が漁獲の主体となっていました。

○予測 (2022年1月~6月)

- ・漁獲対象は、12cm未満が漁獲の主体となる見込みです。
- ・漁獲量(来遊水準)は前年(438トン: 平均比73%)を上回ると予測されます。

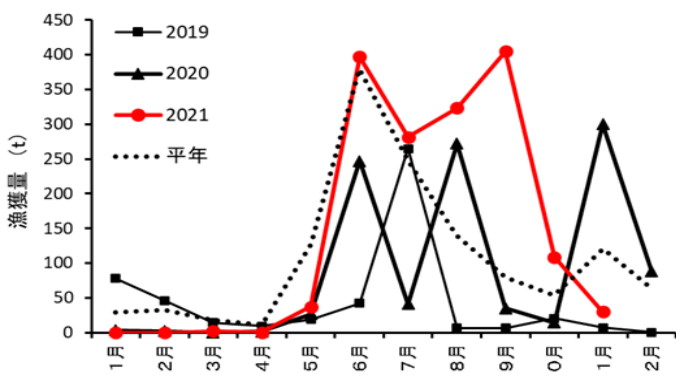


図6 主要まき網のカタクチイワシ漁獲量経月変化

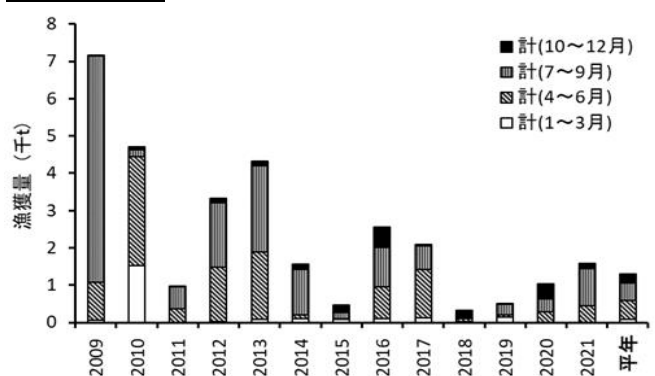


図7 主要まき網のカタクチイワシ漁獲量経年変化

4) マアジ

○経過 (2021年7月～11月)

- ・主要まき網による漁獲は7月以降漁獲が低調であり、前年を大きく下回る漁獲となりました(図8、9)。
- ・漁獲サイズは、まき網により漁獲されたマアジは、7月に12cm前後(尾叉長。以下、略す)、8月に13cm前後、10月に14cm前後が主体となっていました。定置網により漁獲されたマアジは、10月に27cm前後が漁獲の主体となっていました。

○予測 (2022年1月～6月)

- ・漁獲対象は、1歳魚以上が漁獲の主体となる見込みです。
- ・漁獲量(来遊水準)は前年(1,361トン: 平年比279%)を下回ると予測されます。

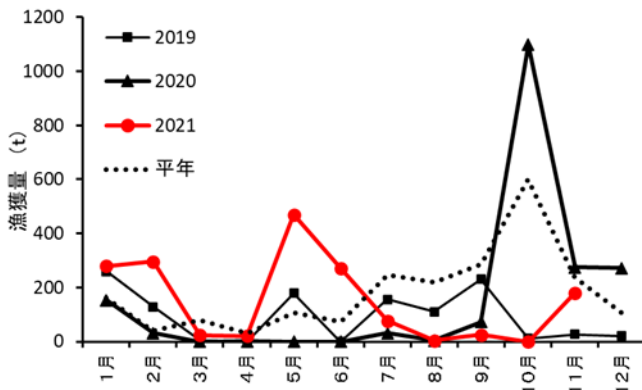


図8 主要まき網のマアジ漁獲量経月変化

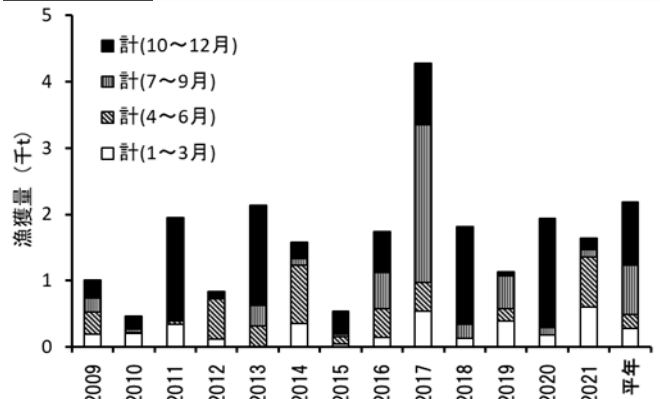


図9 主要まき網のマアジ漁獲量経年変化

5) サバ類

○経過 (2021年7月～11月)

- ・主要まき網による漁獲は、7月以降漁獲が低調であり、前年を下回る漁獲となりました(図10、11)。
- ・漁獲サイズは、まき網により漁獲されたマサバの体長組成は、7月に15cm前後、8月に14cm前後、10月は16cm前後、11月は17cm前後が漁獲の主体となっていました。定置網により漁獲されたマサバの体長組成は、10月は33cm前後が漁獲の主体となっていました。

○予測 (2022年1月～6月)

- ・漁獲対象は、4歳魚以上のマサバが漁獲の主体となる見込みです。
- ・漁獲量(来遊水準)は前年(7,332トン: 平年比53%)並～上回ると予測されます。

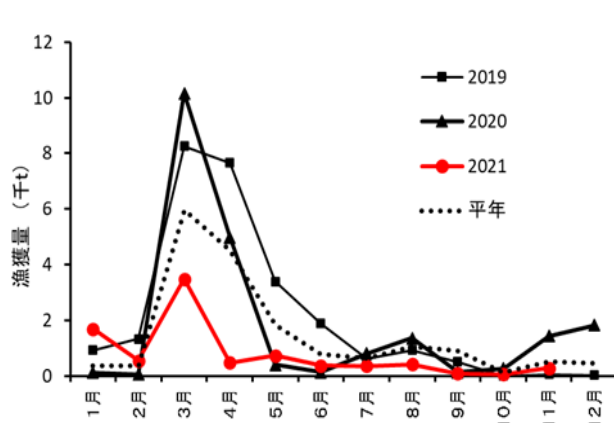


図10 主要まき網のマアジ漁獲量経月変化

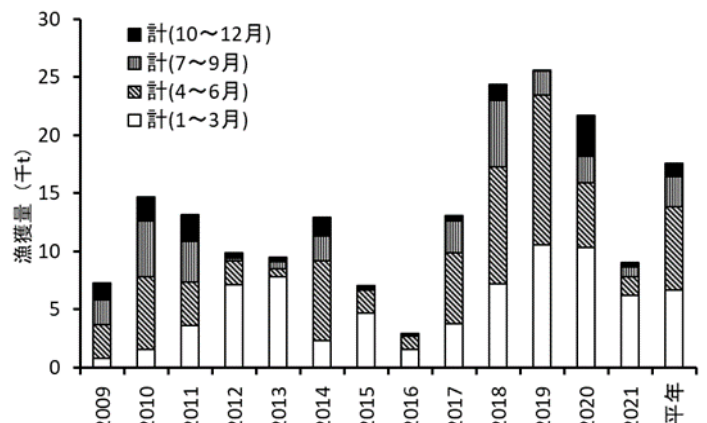


図11 主要まき網のマアジ漁獲量経年変化